



# 一人ひとりがキラキラ輝いた 「世界ダウン症の日」記念イベント

「世界ダウン症の日」前日の3月20日(水・祝)、東京・池袋にある豊島公会堂で、JDS主催の記念イベントを開催しました。

昨年から3月21日が国連制定の「国際デー」の一つになり、初めてJDS主催イベントを行って、今年は2回目。昨年の反省を踏まえ、今回はほぼ倍増の800名定員の会場。今年もスローガン「STEP FORWARD TOGETHER みんなで一緒に前へ進んでいこう」のもと、とても意義のあるイベントになりました。

\*\*\*\*\*

## ■今年の司会は日米の二人体制

司会は、昨年に引き続いて「とくダネ！」で人気のフジテレビアナウンサーの笠井信輔氏と、新しくNHKラジオの英語番組「英会話タイムトライアル」講師のスティーブ・ソレイシィさん。二人の息はピッタリ合っていて、会場は終始、和やかで楽しい雰囲気でした。

オープニングでは3月21日がなぜダウン症の日なのか説明があり、スティーブさんに「STEP FORWARD TOGETHER」の正しい発音を習い、みんなでスローガンを言いました。

主催者挨拶では、玉井JDS理事長が、「生きているダウン症の人を知らないから、出生



大勢の方が集まり少し開場を早めた豊島公会堂の様子

前診断ということになるので、まずは彼らを見てほしい。知ってほしい」と話しました。

来賓の方からは、「すべての子どもが可能性を最大限発揮できるような社会をつくりましょう。そして社会に出ていきましょう」と力強い言葉をいただきました。国際ダウン症連合の会長・理事の皆様からのビデオメッセージも紹介されました(日本語字幕付き)。

## ■LOVE JUNXのパワー 今年も炸裂

次は、LOVE JUNX(ラブジャンクス)によるダンスパフォーマンスです。LOVE JUNXは、ダウン症のある人たちのための世界で初めての本格的エンターテインメントスクール。

代表の牧野アンナさんのもと、関東・関西で700名以上が活動しています。どのダンサーも生き生きと楽しんで踊っていて、終わった後はやりきった充実感に満ちていました。

## ■個性あふれる4名からのメッセージ

その後は、ダウン症のある人たち4名からのメッセージでした。

安部健太さんは、日本初の“ダウン症のタレント”として、NHKのEテレなどで活躍しています(メッセージの内容はp6参照)。

和田恵さんは、会社での楽しい毎日、「嵐



「39窃盗団」の予告等、映像も交え講演された押田監督

のこと、ダンスのことを話してくれました。「一人焼き肉をしたい」とのことです。

千野真広さんは、スーパーの鮮魚コーナーで働いています。ファッションに興味がありデザインの勉強をしているそうです。

岩元綾さんは、「出生前診断に対しては怒りより悲しみが強い」こと、「生まれてこなければいい命はありません」と話してくれました。「命の重さはみな同じはずです。新型の出生前診断は命の選別につながる危険が大きいと感じ、反対です!」と強く訴え、会場からの拍手が鳴り止みませんでした。JDSからは、「共に生きる社会を」と理事・監事がアピール。

**■きょうだいならではの愛ある講演**

記念講演は、映画監督の押田興将氏による「僕と映画とダウン症」。押田氏は自身が監督し、ダウン症のある実弟・キヨタカさんと、もう一人の実弟・ヒロシさんが主演した「39 (サンキュウ) 窃盗団」について話してくださいました。押田氏は「キヨタカを不幸だと思ったことは一度もなく、自分は彼に会えてハッピー。どうしても大好きな彼を主役にした映画を作りたいかった。キヨタカが映画の現場をつくっていた」と感想を述べられました。

また、キヨタカさんのお母さんが、ビデオの中で「キヨタカは8人の子の7番目の5男ですが、特別扱いはしませんでした。好きなことを見つけて応援することが大切です」と



“夢のひととき”で会場を魅了したファッションショー

■ イベント開催に当たりご支援・ご協力をいただきましたすべての皆様に厚くお礼申し上げます。多くの皆様の温かいお気持ちに支えられていることを実感いたしました。 【世界ダウン症の日関連行事実行委員会】

おっしゃっていたのが、とても印象的でした。

**■カッコよく、キュートに、華麗に!!**

第2部は、ファッションショー「DOWN's CHARMING COLLECTION」から始まりました。ダウン症のある子どもから成人、総勢男女30名が出演しました。

提供されたブランドごとにテーマがあり、それに合うウォーキングとポージングを披露。スティーブさんの英語と日本語による司会、プロ仕込みのウォーキングとポージング。気分はまるで“パリコレ”!? 最後に一人ひとりの名前が呼ばれ、舞台中央でポーズをとるみんなは、本当にキラキラと輝いていました。

**■歌で心と心がつながったひととき**

最後は、こどもの城児童合唱団の歌。昨年もトリを務めてくれて大好評だったこどもの城合唱団は、吉村温子先生の指導のもと、小学生から大人まで280名の“ちがうみんなが集まって”、楽しく歌う活動をしています。今回は約80名が参加。まずはディズニーメロディーを様々な振付で歌ってくれて、会場は一緒に手拍子をしながら一気に盛り上がりました。

そして「上を向いて歩こう」と「シング」。「上を…」は歌詞を映して皆で合唱。歌を通して全員の心がつながったひとときでした。

～より良い明日のために みんなで一緒に前へ進んでいきましょう～

【広報出版委員：古谷 公美子】



楽しく元気が湧いてくる「こどもの城児童合唱団」の歌声